

医 療 機 関 の 長 様
指定居宅介護支援事業所長 様
指定介護保険サービス事業所長 様
地域包括支援センター管理者 様
生活支援コーディネーター 様

胎内市長 井 畑 明 彦
一般社団法人 新発田北蒲原医師会
しばた地域医療介護連携センター
センター長 平 塚 雅 英

胎内市エンドオブライフ・ケア研修会の開催について(ご案内)

仲秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当市の介護保険制度の推進にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

市では、在宅医療・介護連携推進事業において「私たちのまちで最期まで生ききるため」医療と介護が目指す姿を専門職の皆さんと一緒に考えています。「入退院支援」「日常の療養支援」「急変時の対応」「看取り」の 4 つの場面で目指すサービスの状態を話し合い、取り組みを始めました。

住民のあるべき姿「地域とつながりをもちながら、住民が望む人生をおくることができる」という最終目標にむけて、利用者ご本人の生きるを支える「思い」と聴く、ロールプレイによるコミュニケーション技術を身につける研修会を計画しました。2017 年にプロフェッショナル～仕事の流儀～にもご出演された小沢先生の講義を予定しています。

つきましては、ご多忙のことと思いますが、先生方ならびに貴所属の多職種の皆様にご出席いただきたくお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和3年11月24日(水) 午後 6 時～8 時30分(150 分)

2 会 場 ZOOM を使用したオンライン研修

(カメラとマイクの使用できる端末 1 人 1 台使用してください)

定員:30名(定員数が多数の場合、抽選にさせていただきます)

3 内 容 胎内市エンドオブライフ・ケア研修会 Part1

～地域とつながりをもちながら、住民が望む人生を送るために～

講 師:エンドオブライフ・ケア協会 めぐみ在宅クリニック 小沢竹俊 氏

※今年度は1回目の研修です。次年度も継続して実施していく予定です。



世の中で一番、苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師を志す。救命救急センター、農村医療に従事した後、1994年より横浜甞生病院 内科・ホスピス勤務。2006年めぐみ在宅クリニックを開院。「ホスピスで学んだことを伝えたい」との思いから、2000年より学校を中心に「いのちの授業」を展開。2013年人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを開始し、2015年エンドオブライフ・ケア協会を設立。

4 その他 準備の都合上、参加を希望される方は11月5日(金)までに、下記へメールで申込みをお願いします。

連絡先:胎内市福祉介護課 地域包括支援センター係
電 話 0254-44-8691
E-mail mirai@city.tainai.lg.jp